

2009年3月11日

企業会計基準委員会と米国財務会計基準審議会が グローバル・コンバージェンスを議論する会合を開催

企業会計基準委員会
米国財務会計基準審議会

企業会計基準委員会(ASBJ)と米国財務会計基準審議会(FASB)の代表者は、今週、東京で会合を開催いたしました。この会合は、会計基準のグローバル・コンバージェンスを目指した相互の対話を促進するためにASBJとFASBが定期的に行っているもので、第7回目となりました。

ASBJ及びFASBにとっての重要な取組みは、国内及び海外で利用するための共通の高品質な会計基準の開発を目指すことです。両者は、世界の主要なビジネスや資本市場における共通の財務報告は、信頼性、比較可能性、概念的十分性を有した有効な財務情報を提供することにより、世界的な経済的インフラストラクチャーとして、非常に重要な役割を果たしていることを再確認しました。

今回の会合の中で、両者は、1組の高品質でグローバルな基準の開発に向けたお互いの戦略を議論しました。その中で、ASBJから、企業会計審議会企画調整部会から2009年2月に公表された「我が国における国際会計基準の取扱いについて(中間報告)(案)」¹についても紹介しました。また、2008年11月のG20首脳によるサミットでの決定に対する対応についても議論を行いました。そして、会計基準は、資本市場の信頼性及び透明性を促進することにより、世界的な経済的インフラストラクチャーとして、非常に重要な役割を果たしていることを再確認しました。

さらに、両者は以下のプロジェクトの状況について意見交換を行いました。

- 金融商品
- 収益認識
- 連結(特別目的事業体を含む)
- 財務諸表の表示

¹ 本中間報告(案)については、金融庁のウェブサイトを参照いただきたい。
<http://www.fsa.go.jp/news/20/20090204-1.html>

両者は、このような継続的な議論により相互理解を深めることは、ASBJ 及び FASB におけるこれからの審議や、中長期的に改善を図る重要な項目に対して IASB とともに進めている今後の高品質な会計基準の開発に寄与すると考えられます。両者は、引き続き、長期的課題や現在の懸案事項について意見交換していくことといたしました。

なお、次回の会合は 2009 年 10 月にノーウォーク（米国）で開催する予定です。

企業会計基準委員会 (ASBJ) について

ASBJ は、2001 年 7 月に民間部門の機関として設立された。ASBJ が開発した会計基準は、金融庁により一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJ は、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJ は、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。ASBJ に関する詳細な情報は、ホームページ <http://www.asb.or.jp/> をご参照いただきたい。

米国財務会計基準審議会 (FASB) について

FASB は、1973 年以来米国における財務会計及び財務報告基準を設定するための民間部門の機関として指定されている。それらの基準は、財務報告書の作成を規定し、証券取引委員会及び米国公認会計士協会により権威のあるものとして正式に認識されている。投資家、債権者、監査人及びその他の人々は、信頼性、透明性、比較可能性のある財務情報を必要とするため、このような基準は、経済の効率的機能にとって不可欠である。FASB に関する詳細な情報は、ホームページ <http://www.fasb.org/> をご参照いただきたい。